

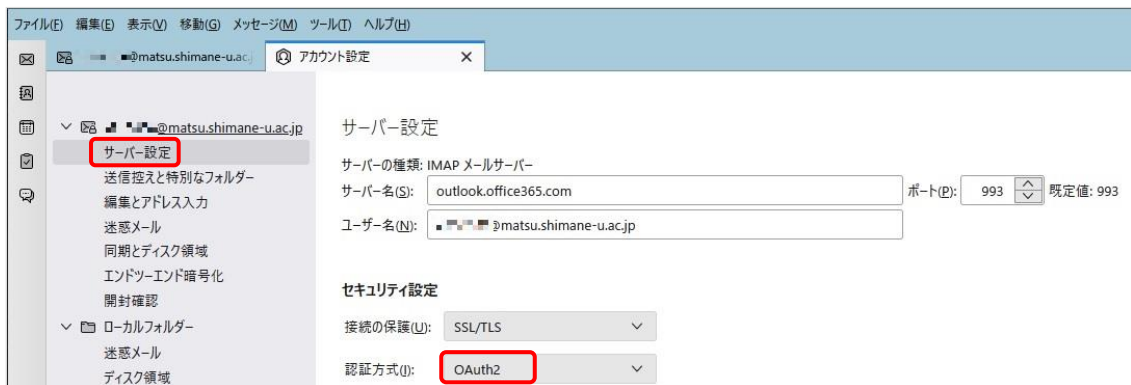
先進認証の設定 (Thunderbird)

ここでは、先進認証への設定行います。1 メールアドレスずつ行ってください。

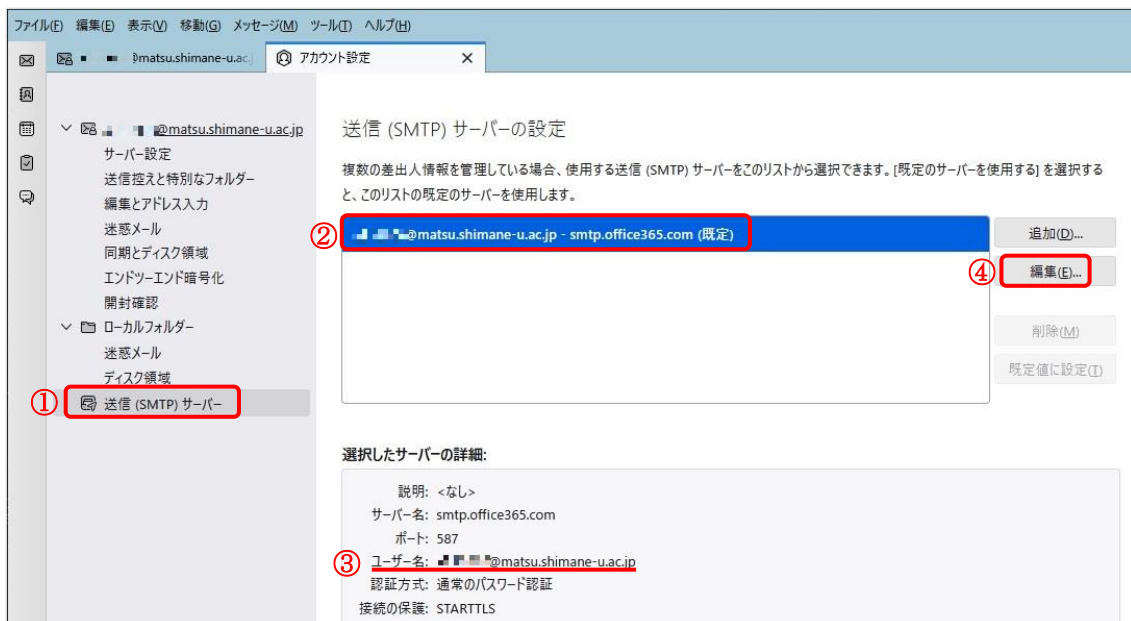
1. Thunderbird を起動し、メールアドレスを右クリックし、「設定」をクリックします。



2. 左ペインの「サーバー設定」をクリックし、「認証方式」プルダウンメニューから「OAuth2」を選択します。



3. 左ペインの「送信(SMTP)サーバー」をクリックし、該当のメールアドレスを選択し、下段詳細の「ユーザー名」を確認後、「編集」をクリックします。



4. 「認証方式」プルダウンメニューから「OAuth2」を選択し、「OK」をクリックします。

送信 (SMTP) サーバー

設定

説明 (D):

サーバー名 (S): smtp.office365.com

ポート番号 (P): 587 既定値: 587

セキュリティと認証

接続の保護 (N): STARTTLS

認証方式 (I): OAuth2

ユーザー名 (M): @matsu.shimane-u.ac.jp

OK キャンセル

5. Thunderbird を再起動します。Microsoft 365 サインイン画面が表示されるので、パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。

Microsoft

@matsu.shimane-u.ac.jp

パスワードの入力

パスワード

パスワードを忘れた場合

別のアカウントでサインインする

サインイン

6. 「要求されているアクセス許可」が表示される場合は、「承諾」をクリックします。

Microsoft

a219000@matsu.shimane-u.ac.jp

要求されているアクセス許可

Thunderbird
www.thunderbird.net

このアプリケーションは、Microsoft またはお客様の組織によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- Read and write access to your mail.
- Read and write access to your mail.
- Access to sending emails from your mailbox.
- Maintain access to data you have given it access to
- View your basic profile

これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシーに関する声明で指定されているとおりこのアプリがデータを使用することを許可することを意味します。確認を行うための利用規約へのリンクが発行元によって提供されていません。これらのアクセス許可は <https://myapps.microsoft.com> で変更できます。詳細の表示

このアプリは疑わしいと思われませんか? こちらでご報告ください

キャンセル 承諾

7. 「サインインの状態を維持しますか?」と表示されたら、「いいえ」をクリックします。



ここまでで、先進認証の設定は完了です。

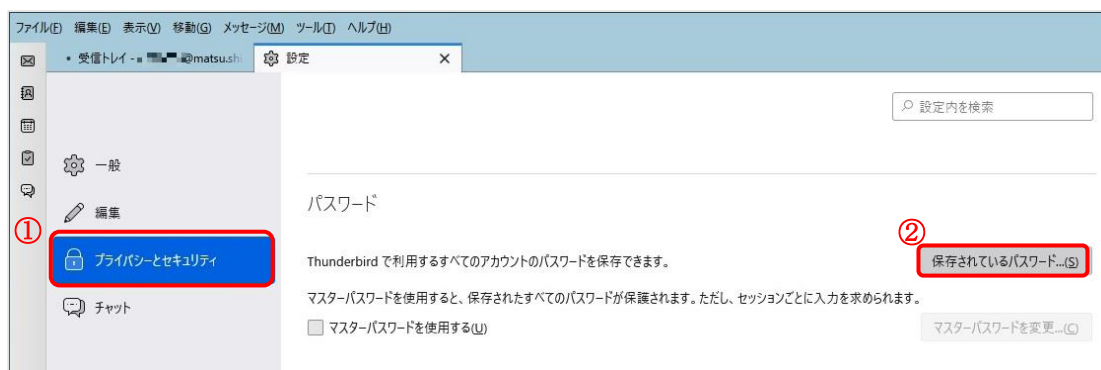
以降の作業では、これまで利用していた基本認証で Thunderbird が保存していた島根大学メールのパスワードを削除します。

Thunderbird での送受信が問題なくできたのを確認後、実施しておきましょう。

8. 右上の設定マークをクリックし、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



9. 左ペインの「プライバシーとセキュリティ」を選択し、「パスワード」セクションの「保存されているパスワード」をクリックします。



10. ユーザー名欄を確認しながら、プロバイダー欄に表示されている「imap://～」及び「smtp://～」を削除します。「oauth://～」は残します。



※ POP の場合は「mailbox://～」となります。

11. 以上で終了です。お疲れ様でした。